

中学生がお気に入りの一冊を紹介し、会場の投票で最も読みたい本を決める「第8回全国中学ビブリオバトル決勝大会」が3月9日、京都市の立命館大学衣笠キャンパスで開かれた。秋田や大阪、大分などの府県大会の代表や学校代表など計35人が出場した。観客約300人の投票で、「行為の意味」(宮澤章二著)を紹介した大阪市立玉出中学2年、梶川嵩太さん(14)が優勝した。大会には三笠宮家の彬子さまが特別ゲストとして参加された。

(学校・学年は大会当時)



部活で挫折心に響いた詩

中学に入學後、野球部に入部した。しかし、ボールを思いっきり投げ、バットをぶんぶん振る前に、ランニング練習で挫折した。なぜみんなのように速く走れないのか。「自分は劣っている。恥ずかしい」。退部しようと思いきり詰めていた時、先生からこの本を手渡された。

宮澤さんが中学生に向けて30年間書き続けた作品など61編が収められた本。中

優勝 梶川嵩太さん 14
大阪市立玉出中2年



*「行為の意味」
(宮澤章二著、
ごま書房新社)

でも、他の人より一歩後を歩くからといって、他の人より劣っているとは限らない。という詩が、劣等感にからめとられ、身動きができなくなっていた心にズシンと響いた。

「これは、絶対にもっと読まれるべき本だ」。人前で話すのは苦手だとかは言ってもらえない。とにかく、みんなにも読んでほしい。その一心で、決勝までやってきた。

第8回全国中学ビブリオバトル決勝大会



決勝では、表題となった詩「行為の意味」を紹介した。「ころ」はだれにも見えないけれど、「ころづかい」は見える。「思いやり」はだれにでも見える。この要約バージョンは、東日本大震災の直後、ACジャパンの広告として繰り返し流れたことでも知られる。「中学生には悩みやつらいことが多々ある。だからみんなの心にも響くはず」と、自身が経験した壁を例に、作品の持つ温かさを訴え、観客の心をつかんだ。

大会の様子を新聞で読んだ宮澤さんの遺族から、感謝の手紙と本が届いた。タイトルは、「前進の季節」(現在は絶版)。「僕にぴったりだと思った」。野球部は今も続けている。

「本は知らない世界の扉を開く」

決勝前のトークセッションには、日本美術の研究者としても活動する三笠宮家の彬子さまが登場された。

彬子さまは2015年、自身のイギリス留学時を描いた「赤と青のガウン オックスフォード留学記」を出版された。昨年文庫化(PHP文庫「写真」)され、38万部のベストセラーとなっている。



トークセッションに彬子さま



トークセッションで、本の魅力について話される三笠宮家の彬子さま

彬子さまは、本の題材となった6年の留学期間について、「本に貴重な時間でした」と振り返り、執筆にあたっては「共感してくださるようなところを意識して加えるようにしました」と話された。

「本は知らない世界の扉を開く、どこでもドアみたいなもの。本を手にとってみることでできることが書店の魅力です」

彬子さまは本や書店の良さをそう語り、「歴史に関する本にたくさん触れ、日本のことを好きにな



表彰式では、彬子さまが入賞者に自著を贈られた

ってほしいと思います」と会場の中学生たちに呼びかけられた。活字が苦手な場合は、漫画で親しんでから原著を読むことも勧め、「源氏物語」を漫画「あさきゆめみし」(大和和紀著)でも読んだ経験を明かされた。

「中学生に薦める本」として、

専門分野の入門書である「達ちの大英博物館」(小山勝也著)と、「推理小説のようで衝撃的だった」という「古池に蛙は飛んだか」(長谷川権著)の2冊が挙げられた。

彬子さまは表彰式にも登壇した。5分間で自分の話したいことをまとめ、それを聴き手に魅了に思ってもらえる話術に驚いた話し、「これからはたくさん本を読んでいきたいですし、ビブリオバトルで私の本を紹介したいと思うように面白い本を」と話した。

AI活用どこまで許容するか



準優勝 前田百愛さん 15
和歌山県湯浅町立湯浅中3年

国語の授業で人工知能(AI)について、賛成派、反対派に分かれて意見を述べあった。自分は「AIに

なるんじゃないか」と思っていた。この本に出会った瞬間に判決文判官の負担軽減として配備が殺人事件で被告の少年の審理官を利用しようミスデリー。

笑い驚き涙の青春小説



立命館大学賞 佐藤快さん 15
秋田県横手市立十文字中3年

テリアスな設定青春小説。そこに驚きと涙が詰ま



交通事故で命を落としたクラスの人気者「山田」の



*「有罪」とAIは告

BOOKS

全国中学ビブリオバトル

語れ！めくるめく本の魅力



中学生が「推し本」の魅力を紹介する書評合戦「第8回全国中学ビブリオバトル決勝大会」が9日、京都市の立命館大学衣笠キャンパスで開かれました。地方大会などを突破した出場者計35人の中から最終決戦に進んだ6人による、熱いバトルの模様をお伝えします!!

人工知能は人を裁けるか？

もし、人を裁く裁判官が、AIになったら……？ そんな近未来をテーマにしたミステリーで、準優勝に輝いた。

地元の図書館で出会い、「AIが話題になっている今こそ、注目される本」と思って選んだという。狙い通り多くの観客の関心を集め、和歌山県大会を突破。全国の舞台にたどりついた。

AIをめぐる社会問題にも触れながら、「現実起こりうる話なんです」「人の運命をAIが握るようになる時代が迫る中、読むべき本だと思います」と熱く訴え、観客の「読みたい！」という気持ちを一気に高めてみせた。



有罪、とAIは告げた

中山七里
小学館大阪・関西創価中学校2年
平野紗莉さん

コミュニケーション技術をまとめたビジネス書。友達作りの難しさを例に挙げ、態度や表情などで好かれるコツを分かりやすく紹介した。

優秀賞受賞者



「90秒で好かれる技術」(ニッセイ基礎研究所編) 西田隆子著



詩を朗読 関西弁で語りかけ

優勝

大阪・大阪市立玉出中学校2年

梶川高太さん



行為の意味

宮沢章二
こま書房新社

登場人物になりきり熱弁

「山田はッ、2年E組の中心でしたッ……！」。事故で死んだクラスメートが、教室のスピーカーにとりついたというとっぴな設定の話題作を紹介。登場人物になりきり、激しい身ぶりや感情を爆発させたかと思えば、終盤ではメガネを外しシリアスに語りかける。笑いと驚きと涙が詰まった物語を全身で表現し、迫真の

立命館
大学賞秋田・横手市立
十文字中学校3年

佐藤快さん

死んだ山田と
教室金子玲介
講談社

しゃべりで会場を沸かせた。「練習で中学のみんなに飽きるほど聞いてもらったおかげ」と笑顔で語った。

第1回 ビブリオバトル 決勝進出者・本

組	紹介する本 と 意気込み
1組	『天国までの49日間』（櫻井千姫） 「2回戦と同じようにダントツで勝ちます。」
	『私定時で帰ります』（朱野帰子） 「このような場に出るのが楽しみなので、しっかり天下を狙いに行きます。Sには負けません。」
2組	『神のロジック』（西澤保彦） 「がんばります。ぼくが明智光秀になります。」
	『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』（廣嶋玲子） 「敗者復活で1回戦を勝ち残り、2回戦も勝ち上がったので、敗者復活で選んでくださった人に感謝します。」
3組	『ノックの音が』（星新一） 「できるだけ高みを目指して頑張りたいです。」
	『三匹のおっさん』（有川浩） 「ここまで来たので天下統一します。」

第2回 ビブリオバトル 決勝進出者・本

組	紹介する本 と 意気込み
1組	『また、いる…。』（中村まさみ）「天下統一して、府大会まで出場します。」
	『キャラ変!』（清水セイカ）「Oを倒して、天下統一します。」
2組	『世界から猫が消えたなら』（川村元気） 「できる限りをつくして、上位を目指します。」
	『残像に口紅を』（筒井康隆）「できるだけ嵩みを目指して天下・統一。」
3組	『妄想銀行』（星新一）「今回も優勝目指して本気出します。」
	『釣り仕掛けガイド』（矢口孝雄）「小説とかじゃないけど、頑張ります。」
敗者復活	『54字の物語』（氏田雄介）「決勝戦女子として初めて上がるので頑張ります」

第3回 ビブリオバトル 決勝進出者・本

組	紹介する本
3年1組	『マスカレードゲーム』（東野圭吾）
3年2組	『人生を変えた』（せいや）
3年3組	『いつかの約束1945』（山本悦子）
2年生	『海に見える理髪店』（荻原浩）
2年生	『野原ひろし昼メシの流儀』（原案；臼井儀人、作画；塚原洋一）
2年生	『イニシエーションラブ』（乾くるみ）
敗者復活(1年生)	『千年鬼』（西條奈加）